



わがふるさと富士山

②

登山道

渡辺靖子

伝法二五〇九



五月も半ば過ぎ、私の富士山を求めて歩き回りました。あるときはホテルの六階から、コーヒーを飲みながらじっと富士山を眺めておりました。その日は雲の流れが早く、刻々と変化する山の様子を息をのむ思いで見とれていたものです。田子の浦港へ、東名のインター西へとスケッチの足を進め、雄大な富士山を求め続けました。

あれから半年余り、私は雪をいだいた男性的な富士山より優しさのある女性的な富士山を表現しようと、また、めぐって来る真夏の富士に再度挑戦して見ようと思っています。そして、四季折々の富士の姿を型染にしたいと夢を膨らませています。

こちら編集室

緑滴り、新茶のおいしい季節です。折しも和菓子ブームだそうで、京都のしにせになると修学旅行の男子生徒が連れ立って、わざわざ和菓子を食べにやって来るのだそうです。

さて我が街にも、水ようかんなんかと一緒に、お茶を飲ませてくれる店はできないものでしょうか。何ていったって、日本一おいしい、富士のやぶきた茶の産地なんですから。

☆ちょっといいお話。「ツタンカーメンのエンドウ豆」を分けてくれる人があらわれました。この豆は、エジプトのツタンカーメン王の墓を発掘したときに発見されたものと言われています。庭でも鉢植えでもいいそうで、もちろん食べてもおいしいとか。興味のある人は、広報広聴課 ☎51-0123 (内線2823) へご連絡ください。



広報ふじは環境にやさしい再生紙を使っています